



さあ、1年間のまとめの日々が始まりました

新しい年を迎えて早くも1か月が過ぎようとしています。時の経つのは全く速いものですね。さて、2学期制をとっている宇都宮市では冬休み明けは「2学期後半」ということになりませんが、以前の「3学期」にあたり、1年間のまとめの学期（日々）になります。

3年生はすでに私立高校の受験を多くの生徒が経験し、中学校生活の締めくくりに向かって好むと好まざるとにかかわらず、4月からの新たな環境に突き進んでいます。

2年生や1年生は、まだまだ切羽詰まったものがないので、いまひとつピンとこない人も多いかもしれませんが、こちらも一つ上の学年に進級するにあたって、今年度、自分が頑張ってきたこと（もしかしたら、やり残してきたこと）をまとめ上げ、新年度につなげていくための期間となります。

最初に書いたように、時は立ち止まってはくれません。容赦無く、過ぎ去っていきます。年度末になって、後悔だけが残っていることのないようにしましょう。

今年 は 戌 年

「戌年」ってどんな意味があるか知っていますか？

昨年、猫に「第1位」の座は明け渡したものの、ペットの代表格である「犬」が描かれることの多い「戌年」ですが、改めて言うまでもありませんが、通常我々が使う「犬」ではなく「戌」という漢字が使われます。

実はこの「戌」という漢字は、「草木が枯れる」ことを表わし、「滅（めつ）」の意味があるという説があります。「滅」を使った熟語ですぐに思い浮かぶのは「滅亡」や「消滅」ではないでしょうか。

一般に「滅ぶ」や「枯れる」という言葉に対して、明るいイメージを抱く人はあまり多くはないように思います。ですから、皆さんの中には「戌年の今年はあまりいい年ではなさそう」と不安を感じ、心配になってしまう人もいるかもしれません。

しかし、心配する必要はありません。なぜなら、「戌」の字は「滅」に繋がりますが、それは「滅びや朽ちる」という意味で終わるのではなく、「次の新しい命につなぎ、その命を守る」ために「休んで力を蓄える」という意味があるからです。草や木が秋から冬にかけて葉を落とし、枯れたようになるのは、新たに芽吹く春に備えているためで、「戌年」はステップアップを図る力が湧きあがり、やがて、みなぎってくる年ということになるのです。

ですから、生徒の皆さんには、『今年を将来に向けて、自分の可能性を信じて、いろいろなことにチャレンジしたり、とにかくガムシャラに頑張ってみる1年間』にしてほしいと思います。

ところで、昔から、女性が赤ちゃんを宿し、妊娠後のある時期がくると、縁起のいい日とされる「戌の日」に腹帯を巻くという風習があります。

これは、安産のためだけでなく、「産まれてくる新しい命（赤ちゃん）を守ってもらおう」という願いも込められたものです。最近では実際に行われることが少なくなっているのかもしれませんが、そこに込められた思い（願い）は受け継がれてほしいものです。



立志記念スキー教室（2年生）

1月25日（木）・26日（金）の1泊2日

2年生の宿泊を伴う行事として、毎年行っている「立志記念スキー教室」が、今年度は福島県の猪苗代にある「リステルスキーファンタジア」（ホテルリステル猪苗代に隣接するスキー場）で実施されました。

当日は、何十年に一度くらいの大寒波の影響で、気温は低く、時折強風と雪で前がよく見えないような厳しい条件下でのスキー実習となりましたが、多くの生徒は終了間際にはそれなりに滑ることができるようになり、「楽しい」「もっと滑っていたい」との声も聞こえました。

また、初日の夜には「立志式」があり、学級代表の作文発表、各自で立志にあたっての決意を短冊形の色紙に書くなどの記念行事を行いました。

今回のスキー教室実施に向けて、学級から男女2名ずつの計8名の実行委員が選出され、かなり前から話し合い、準備を進めてくれていました。先日行われた、2学年の保護者会においても、先生たちに代わって説明を行うなど頑張ってくれていました。

スキー教室実行委員長の2年2組の福澤崇吾です。

僕のスキー教室の目標は、全員が安心して楽しくスキーができること、そして、立志式では一人一人が志を立て、修学旅行や受験に繋がられるようにすることです。また、今回のスキー教室のスローガンは《おそれずに 自分の道を切り開け 輝く未来をつかみ取るまで！～不撓不屈 一人前の大人へ～》なので、絆を深め、大人への一歩を歩んでいきたいと思います。

1泊2日のスキー教室。どんな感じになるか分かりませんが、71人全員が大きな怪我なく、帰校できるように頑張ります。
福澤 崇吾 さん

事前に実行委員長と副委員長の二人に実施にあたっての抱負を聞いていたので、それを紹介します。



私たち2年生はスキー教室で立志式を迎えることとなります。

立志とはそれぞれ自分で志を立て、それに向かって努力することです。また、立志式を人生の節目とし、将来の自分の進路や夢について真剣に考え、達成するためにこれまでの自分を振り返り、これからの自分の生き方を考えて、残りの中学校生活を充実した1年にしたいです。

上鈴木 日菜さん

《学級代表の作文発表》

1組代表 鷹 箸 涉 さん

2組代表 高 野 菜々美 さん



《スキー実習の一コマ》

HPに写真をUPしましたので、**【写真館】**のページをご覧ください。

